

催淫  
アイドルEX



18

# あらすじ

グラビア撮影の際恥ずかしさのあまり  
逃げ出してしまった千枝  
追いかけてきたプロデューサーが  
手渡した薬とイヤホン  
「心を落ち着ける薬」と言われ信じて  
飲み込む千枝だったが実は媚薬だった  
そしてイヤホンから流れてくる催眠導入音  
千枝は催眠状態の際の記憶は普段思い出せない  
用にされたまま身体を開発されていく  
そして調教の具合を確かめるため  
「番組の収録で共演する犬と仲良くなるために  
犬の気持ちになろう」という催眠をかけられ  
千枝はプロデューサーの毒牙に…

あ、もう映ってますか？  
えへへ！佐々木千枝です♥

今日は千枝が今度出演する番組で  
共演のワンちゃんやんと仲良くできるように  
ワンちゃんになりきる練習を  
プロデューサーに手伝ってもらってます♥  
まずはワンちゃんが大好きなミルクを  
飲みたいと思います♥

「待て」

「プロデューサー  
早く早く！」

千枝我慢できなげなげ♥

は〜

「早く」

んんん♥

先っぽをべるべると  
ミルクは出にくけれど  
その分濃厚になるらしいです♡

最初は苦くて美味しくなかったけど  
最近はおちちゃんさんの気持ちに  
近づけたのかな：濃厚なミルクが  
癖になってきました♡

あっ♡おちちゃんさんが  
ピクピクしてきた♡  
そろそろ濃厚なミルクが  
出そうです♡

んんん  
んんん  
んんん

んんん  
んんん  
んんん

んんん♡  
やっとなんか出た♡

勿体無いので奥の  
一滴まで残さないように  
ゴクゴクしちゃいます♡

ちゅん♡

大好きなミルクだからって  
ちよっとはしたくないかな？♡

「さあ…お腹いっぱいになったら次は？」  
運動…です♥

「正解。じゃあどんな運動しようか？」  
仲良くなるには触れ合いが  
大事だと思います♥

「どうですか？」

交尾…です♥  
プロデューサーのおち○ちんと  
千枝のおま○こで仲良く  
触れ合いたいです♥

く 呻 はお♥

「よくできました。」

あ…♥あ…♥  
おち○ちん入っ…て  
きたあ…♥

「あんまり従順でも  
面白くないな…つと」

え？あ…あれ？  
千枝…あれ？

ぷ…プロデュー…サー!?  
何してる…んですか!?!  
やめて…ください!  
「うん。いい反応だ  
実に屈服させがいがある」  
訳…わから…ないこと  
言…て…ない…で  
抜…いて…く…だ…さい!  
千枝…プロデューサーさん  
好きだったのに…こんな…っ

「とはいえ記憶は閉じ込めているが  
身体は十分調教してあるから  
すぐ堕ちてしまうかな」

何言ってる…んっ…  
です…か…あっ…んっ

「ふふ…あえて奥まで突かないように  
しているのにその感じ様じや  
奥まで突いたらどうなってしまうかな」

千枝…千枝…感じ…んっ  
て…あ…っ…ない…もん…んっ…  
♡

「そうかそうか…  
じゃあ試しに奥まで  
突いてあげよう」

だ  
ん  
だ  
ん  
だ  
ん

や…やだあ…  
千枝…感じ…  
なんか…ない…  
け…ど…やめ…

「そら！」

て  
え  
ん  
ん  
ん  
ん

ん  
ん  
ん

ん  
ん  
ん

あ…あ…♡

「ほらやつぱり感じてた  
じゃないか  
一突きでイっちやうなんてね」  
ごめ…な…ひやい…  
千…枝…嘘…つきま…ひた  
だから…もう…やめ…  
「駄目だよ。嘘つきには  
お仕置が必要だ  
二度と嘘がつけなくなる  
まで絶頂かせてあげよう」

そん…なあ…  
ゆる…ひ…でえ…

は…は…♡

「ほらほら千枝ちゃんは今ワンちゃん  
の気持ちになったかっただんでしょ？  
今の千枝ちゃんは発情した雌犬そのものだよ」

千枝……いま……  
ワンちゃん……んみた……い？

「そろそろ。だから  
いっぱい感じていいんだよ」

そつ……か……ちえ……いま……  
ワン……ちゃん……なん……だ……♡

シューッ

「そろそろワンちゃんが  
大好きなミルクいっぱい  
出してあげるね」

は……い♡  
千枝……に……ミルク……  
い……ぱい……くだひや……い♡

ずちゅ

ちゅ

ちゅ

ずちゅ

ずちゅ

ちゅ





「アノキミの記憶を思い出した  
今回の記憶は正解をさがし始めるから  
安心してオヤスミッ」



調教が完了したと確信するプロデューサー

そして千枝は調教された記憶が封じられた

まま番組の打ち合わせと称して

千枝を買った男の元へと向かい...

# 後書き

初めましてorこんにちはyashaです  
この度は本を手にとって頂きありがとうございます  
今回のお話はC82で発行した「催眠アイドル」の  
入れられなかったエピソードです。  
この話の後上記の本の最後のおやじに墮とされる話に  
続きます。

本当は犬×千枝ちゃんの予定だったのですが時間と  
画力の都合上プロデューサーになってしまいました(・ω・)  
やはり催眠系は墮ちるまでの過程を重視したいので  
ついつい頁がかさんでしまって入れられない話が  
出てきてしまうのが難点ですね…  
またその内催眠系描きたい所です…催眠音声ネタとか  
浮かんでるんですが如何せん頁がかさむ予感ピンピン  
なので来年に持ち越しで(ε`;) )

ではまた次の本でお会いできれば嬉しいです

yasha

奥付

発行 Endless Requiem  
発行者 yasha  
発行日 2012年11月23日  
印刷所 ねこのしっぽ様

連絡先

<http://www.pandora.nu/endlessrequiem/>  
yasha@pandora.nu

☆本書の内容の無断転載・コピー・ネット上への  
アップロードを禁じます。



**Endless Requiem  
Presents**